【資料３】

令和8年度　建設事業評価有識者会議
継続中事業の取組状況について

・前回の事業再評価(※)時に事業継続となった(休止・中止でない)事業は、次の再評価時または事業完了まで、定期的に状況を確認
・今回、直近年度(令和7年度)の状況を確認し、継続中事業(確認時点で完了等でなく継続中の事業)について、取組状況・自己評価を報告(詳細別紙)
(※事業継続中の再評価対象外事業(翌年度までに完了予定または事業費の執行済比率80%以上の事業)に係る報告を含む)

【総括表】

〈前回各再評価時〉事業継続となった事業の件数			〈直近確認時〉継続中事業の件数 ※詳細別紙	自己評価別内訳 ※( )は事業費・期間の計画変更をした件数		備考 ※評価は令和7年度末時点(計画変更をした事業にあっては計画変更後)の状況を元に実施	
						事業費進捗率①②	事業内容(ⅰ)(ⅱ)
3年分合計	38	▲6	令和7年度 32	①(ⅰ)	11 (0)	①計画どおりに進捗している	(ⅰ)計画どおりに進捗している
				①(ⅱ)	2 (1)	①計画どおりに進捗している	(ⅱ)計画どおりに進捗していない
				②(ⅰ)	8 (1)	②計画どおりに進捗していない	(ⅰ)計画どおりに進捗している
				②(ⅱ)	11 (6)	②計画どおりに進捗していない	(ⅱ)計画どおりに進捗していない

※事業費進捗率は、「計画」と「実績」の進捗率を比較し、計画どおりか否かを評価
※事業内容は、令和7年度の工事等の進捗状況に応じ、計画どおりか否かを評価

(内訳)

令和4年度	6	▲2	令和7年度 4	①(ⅰ)	1	<▲2の内訳> ・令和8年度に再評価を実施するため本報告から除くもの…2件
				①(ⅱ)		
				②(ⅰ)	2	
				②(ⅱ)	1	
令和5年度	21	▲3	18	①(ⅰ)	6	<▲3の内訳> ・前回再評価後に完了となったもの…2件 ・令和8年度に再評価を実施するため本報告から除くもの…1件 <②(ⅱ)の(6)について> ・うち1件は、必要経費の精査により事業費を削減
				①(ⅱ)	1 (1)	
				②(ⅰ)	2	
				②(ⅱ)	9 (6)	
令和6年度	11	▲1	10	①(ⅰ)	4	<▲1の内訳> ・前回再評価後に完了となったもの…1件
				①(ⅱ)	1	
				②(ⅰ)	4 (1)	
				②(ⅱ)	1	

別紙

継続中事業の取組状況 － 令和4年度 事業再評価実施事業･対象外事業

【対応方針】事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】 事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 （ⅰ）計画どおりに進捗している
（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	［事業種別］事業名（所管局）	〈前回再評価時〉（対象外事業は方針作成なし） 対応方針	今後の取組方針	〈直近確認時〉 取組状況（事業費単位：億円）			4年度（事業再評価時）	5年度	6年度	7年度	8年度	7年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由
R4-01	［港湾整備事業］咲洲東土地造成事業（大阪港湾局）	事業継続（B）	【埠頭用地】 国直轄事業を核とする国際物流ターミナル整備事業の令和13年度の完成にあわせ、着実に実施していく。 【流通施設用地】 背後に一大消費圏を抱える大阪港において、輸送効率化に寄与する大型物流施設の立地需要に対応するとともに、今後不足する恐れのある公共残土の処分場確保の観点から、令和19年度の完成をめざし、着実に実施していく。	計画【埠頭用地】	事業費	全体	48	48	48	48	48	【埠頭用地】 ・環境影響評価（準備書作成） ・基本設計（護岸設計） ・埋立免許申請図書作成 【流通施設用地】 ・環境影響評価（準備書作成） ・基本設計（護岸設計） ・埋立免許申請図書作成	［自己評価結果］ ②（ⅰ） ［理由］ 事業の実施に伴って生じる環境への影響について、事業実施前に調査をする必要があり、当該調査の結果に影響があるため事業にかかる工事発注を見送った。このことから、事業費では計画を下回るものの、事業は計画通りに進捗している。
						累計	7	7	9	11	15		
						進捗率	15%	15%	19%	23%	31%		
					完了年度		R13	R13	R13	R13	R13		
				実績【埠頭用地】	事業費	全体	48	48	48	48			
						累計	7	7	7	8			
						進捗率	15%	15%	15%	16%			
					完了年度		R13	R13	R13	R13			
				計画【流通施設用地】	事業費	全体	103	103	103	103	103		
						累計	5	6	8	11	18		
						進捗率	5%	6%	8%	11%	17%		
					完了年度		R19	R19	R19	R19	R19		
				実績【流通施設用地】	事業費	全体	103	103	103	103			
						累計	5	5	6	7			
						進捗率	5%	5%	6%	7%			
					完了年度		R19	R19	R19	R19			
R4-02	［街路事業］豊里矢田線（生野）整備事業（建設局）	事業継続（A）	本事業については、本市東部エリアにおける南北方向の道路ネットワークの形成と生野区南部地区における密集市街地の防災骨格を担う重要な路線として、当該区間の整備を進めていく必要性が高いことから、引続き事業費確保に努め、令和9年度までの事業完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	25	25	25	25	25	測量・設計、用地取得及び用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	［自己評価結果］ ②（ⅱ） ［理由］ 権利者との用地交渉に時間を要したため。
						累計	2	5	13	22	23		
						進捗率	9%	22%	51%	87%	93%		
					完了年度		R9	R9	R9	R9	R9		
				実績	事業費	全体	25	25	25	25			
						累計	1	4	5	9			
						進捗率	5%	17%	21%	36%			
					完了年度		R9	R9	R9	R9			
R4-03	［街路事業］淀川南岸線整備事業（建設局）	事業継続（A）	本事業は、東西方向の市内幹線道路ネットワークの形成と歩行者等の安全性の向上や防災性の向上、淀川左岸線へのアクセス向上が図られることから、引続き事業費確保に努め、事業完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	138	138	138	138	138	淀川左岸線（２期）事業に伴う阪急交差部工事等を実施した。	［自己評価結果］ ①（ⅰ） ［理由］
						累計	51	67	73	81	83		
						進捗率	37%	49%	53%	59%	60%		
					完了年度		R13	R13	R13	R13	R13		
				実績	事業費	全体	138	138	138	138			
						累計	48	61	80	95			
						進捗率	35%	44%	58%	69%			
					完了年度		R13	R13	R13	R13			
R4-04	［街路事業］淀川左岸線（２期）事業（建設局）	事業継続（A）	本事業については，「大阪都市再生環状道路」として整備することで、産業・観光・物流の発展や都心部の渋滞緩和、市街地環境の改善、災害時のリダンダンシーの確保などが図られることから、引続き事業費確保に努め、事業完了に向け重点的に実施する。また、万博開催時においては、シャトルバス等のアクセスルートとして利用することにより、会場へのアクセス時間の短縮や定時性の向上、複数ルートの確保による渋滞緩和などに寄与することから、万博時において暫定的に利用可能となるよう重点的に実施する。	計画	事業費	全体	6,109	6,109	6,109	6,109	6,109	トンネル本体工事等を実施した。	［自己評価結果］ ②（ⅰ） ［理由］ 事業費進捗率は計画未満となっているが、事業計画上の実施すべき工事等は遅延なく実施できており、事業進捗が図れている。
						累計	4,084	4,381	4,752	4,864	5,118		
						進捗率	67%	72%	78%	80%	84%		
					完了年度		R14	R14	R14	R14	R14		
				実績	事業費	全体	6,109	6,109	6,109	6,109			
						累計	3,971	4,229	4,500	4,683			
						進捗率	65%	69%	74%	77%			
					完了年度		R14	R14	R14	R14			

別紙

継続中事業の取組状況 － 令和5年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】 事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 （ⅰ）計画どおりに進捗している
（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	［事業種別］事業名（所管局）	〈前回再評価時〉（対象外事業は方針作成なし） 対応方針	今後の取組方針	〈直近確認時〉 取組状況（事業費単位：億円）			5年度（事業再評価時）	6年度	7年度	8年度	9年度	7年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由
R5-01	［街路事業］東野田河堀口線（大手前）整備事業（建設局）	事業継続（A）	本事業については、自動車交通の円滑化や歩行者の安全な歩行空間の確保、さらには都市防災機能の向上を図るため、当該区間の整備を進めて行く必要性が高い。そのため、残る1件の国有地の用地買収を早々にまとめていくとともに、引き続き事業費の確保に努め、令和10年度末までの事業完了に向けて重点的に実施する。	計画	事業費	全体	24	24	24	24	24	用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	［自己評価結果］ ②（ⅱ） ［理由］ 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要したため
						累計	16	16	21	21	22		
						進捗率	69%	67%	86%	86%	90%		
					完了年度		R10	R10	R13	R13	R13		
				実績	事業費	全体	24	24	24				
						累計	16	17	17				
						進捗率	69%	68%	68%				
					完了年度		R10	R13	R13				
R5-02	［街路事業］尼崎平野線（山王）整備事業（建設局）	事業継続（A）	本事業については、自動車交通の円滑化や密集市街地の防災骨格の形成など、当該区間の整備を進めて行く必要性が高いことから、引き続き未買収地の用地取得に向けた交渉を粘り強く続けるとともに事業費の確保に努め、令和12年度末までの事業完了に向けて重点的に実施する。	計画	事業費	全体	49	49	49	49	49	用地取得及び用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。 ※事業費の変更を行った。（48.50億→46.80億）	［自己評価結果］ ②（ⅱ） ［理由］ 権利者との用地交渉に時間を要したため。 ［事業期間等の変更をした理由］ 令和７年度の事業認可変更において、事業計画（事業期間、事業費）を見直した。 ・事業期間：権利者との用地交渉の難航 ・事業費：地価の変動及び建設価格の高騰の反映 （価格高騰はあったものの、残事業費を精査した結果、用地取得費が減少し、全体事業費は減額となった。）
						累計	26	28	29	33	38		
						進捗率	53%	58%	60%	68%	79%		
					完了年度		R12	R12	R12	R12	R12		
				実績	事業費	全体	49	49	**47**				
						累計	26	26	26				
						進捗率	53%	54%	56%				
					完了年度		R12	R12	**R14**				
R5-03	［街路事業］豊里矢田線（鴫野・蒲生）整備事業（建設局）	事業継続（A）	本事業については、本市東部エリアにおける南北方向の道路ネットワークの形成と歩行者等の安全性の向上を図るために、該当区間の整備を進めて行く必要性が高いことから、引き続き未買収地の用地取得に向けた交渉を粘り強く続けていき、令和12年度末までの段階的整備に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	150	150	150	150	150	測量・設計、用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	［自己評価結果］ ②（ⅱ） ［理由］ 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要したため
						累計	103	120	129	136	144		
						進捗率	69%	80%	86%	91%	96%		
					完了年度		R12	R12	R12	R12	R12		
				実績	事業費	全体	150	150	150				
						累計	103	104	104				
						進捗率	69%	70%	70%				
					完了年度		R12	R12	R12				
R5-04	［街路事業］正蓮寺川北岸線（伝法・伝法東）整備事業（建設局）	事業継続（A）	本事業については、自動車交通の円滑化と歩行者等の安全な通行空間の確保に加え、防災機能の向上を図るためには重要であり、阪神なんば線との交差部においては淀川橋梁架替事業の進捗にあわせて進めて行く必要があることから、令和13年度末での事業完了に向けて重点的に実施する。	計画	事業費	全体	61	61	61	61	61	用地取得及び用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	［自己評価結果］ ②（ⅰ） ［理由］ 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、用地交渉や関係機関協議、道路設計を着実に進めており、事業進捗が図れているため。
						累計	31	35	40	45	49		
						進捗率	52%	57%	65%	73%	80%		
					完了年度		R13	R13	R13	R13	R13		
				実績	事業費	全体	61	61	61				
						累計	30	32	34				
						進捗率	50%	52%	55%				
					完了年度		R13	R13	R13				

別紙

継続中事業の取組状況 － 令和5年度 事業再評価実施事業･対象外事業

【対応方針】事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】 事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 （ⅰ）計画どおりに進捗している
（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	［事業種別］事業名（所管局）	〈前回再評価時〉（対象外事業は方針作成なし） 対応方針	今後の取組方針	〈直近確認時〉 取組状況（事業費単位：億円）			5年度（事業再評価時）	6年度	7年度	8年度	9年度	7年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由
R5-05	［街路事業］尼崎堺線（住之江）整備事業（建設局）	事業継続（A）	本事業については、北加賀屋交差点の交差点改良は完了しているものの、歩道拡幅による歩行者や自転車等の安全対策の必要性が高いことから、引き続き早々の用地買収に努め、令和7年度末までの事業完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	13	13	13	－	－	測量・設計、用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。 ※事業費の変更を行った。（13.34億→18.53億）	［自己評価結果］ ②（ⅱ） ［理由］ 権利者との用地交渉に時間を要したため。 ［事業期間等の変更をした理由］ 令和７年度の事業認可変更において、事業計画（事業期間、事業費）を見直した。 ・事業期間：権利者との用地交渉の難航 ・事業費：地価の変動及び建設価格の高騰の反映
						累計	11	12	13	－	－		
						進捗率	79%	90%	100%	－	－		
					完了年度		R7	R7	R7	－	－		
				実績	事業費	全体	13	13	19				
						累計	8	8	8				
						進捗率	60%	60%	44%				
					完了年度		R7	R7	R14				
R5-06	［街路事業］正蓮寺川歩行者専用道整備事業（建設局）	事業継続（A）	本事業については、正蓮寺川総合整備事業の一環として位置付けられており、市民サービスの提供や防災機能の発揮などの観点から必要性の高い事業であり、関連事業の工事進捗を勘案しながら、令和12年度末までの事業完了に向け、重点的に実施する。	計画	事業費	全体	22	22	22	22	22	測量・設計、歩行者専用道整備に向けた基盤整備を行うなど、事業進捗を図った。 ※事業費の変更を行った。（22.48億→23.99億）	［自己評価結果］ ②（ⅱ） ［理由］ 本事業は、公園と歩行者専用道の整備を一体的に実施するものであるが、関係先との協議により基盤整備高さを変更する必要が生じたことや、先行して実施している基盤整備工事において地中障害物が確認されたことから、基盤整備工事に遅れが生じ、公園工事の着工にも遅れが生じている。 ［事業費の変更をした理由］ 令和７年度の事業認可変更において、事業計画（事業費）を見直した。 ・事業費：地価の変動及び建設価格の高騰の反映
						累計	16	16	17	18	19		
						進捗率	71%	73%	75%	80%	85%		
					完了年度		R12	R12	R12	R12	R12		
				実績	事業費	全体	22	22	24				
						累計	16	16	16				
						進捗率	70%	70%	66%				
					完了年度		R12	R12	R12				
R5-07	［公園整備事業］正蓮寺川公園整備事業（建設局）	事業継続（A）	本事業については、正蓮寺川総合整備事業の一環として位置付けられており、市民サービスの提供や防災機能の発揮などの観点から必要性の高い事業であり、関連事業の工事進捗を勘案しながら、令和12年度末までの事業完了に向け、重点的に実施する。	計画	事業費	全体	71	52	52	52	52	森巣橋～恩貴島橋間の実施設計を行った。 ※事業費の変更を行った。（52億→53.57億）	［自己評価結果］ ②（ⅱ） ［理由］ 本事業は、公園と歩行者専用道の整備を一体的に実施するものであるが、関係先との協議により基盤整備高さを変更する必要が生じたことや、先行して実施している基盤整備工事において地中障害物が確認されたことから、基盤整備工事に遅れが生じ、公園工事の着工にも遅れが生じている。 ［事業費の変更をした理由］ 令和７年度の事業認可変更において、事業計画（事業費）を見直した。 ・事業費：地価の変動及び建設価格の高騰の反映
						累計	28	29	32	36	40		
						進捗率	39%	55%	62%	69%	78%		
					完了年度		R12	R12	R12	R12	R12		
				実績	事業費	全体	52	52	54				
						累計	28	28	29				
						進捗率	53%	54%	54%				
					完了年度		R12	R12	R12				
R5-08	［下水道事業］大阪市公共下水道事業（抜本的浸水対策事業）（建設局）	事業継続（B）	浸水対策事業については、市民の安心安全の確保の観点から必要性の高い事業であり、本市下水道事業経営戦略に基づき、予算の範囲内で引き続き下水道幹線やポンプ場を整備することにより、現在実施している工事は着実に進め、令和8年度での雨水対策整備率81.6%に向けて事業を実施する。	計画	事業費	全体	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	・島屋北幹線、桜島～西島幹線において整備工事を進め、工事完成した。	［自己評価結果］ ①（ⅰ） ［理由］ これまでの再評価は、個別路線単位での評価が技術的に難しく、市内一円の全体計画に対して実施してきたが、次回再評価からは個別路線単位で実施予定。再評価対象となる、継続中の10億円以上の事業の進捗率（事業費）は次のとおり。 ①淀の大放水路（大隅～十八条幹線）・・・ ９５％ ②豊崎～茶屋町幹線 ・・・ ３５％
						累計	7,062	7,174	7,228	7,251	7,251		
						進捗率	74%	75%	75%	76%	76%		
					完了年度		R20	R20	R20	R20	R20		
				実績	事業費	全体	9,600	9,600	9,600				
						累計	7,062	7,174	7,198				
						進捗率	74%	75%	75%				
					完了年度		R20	R20	R20				

別紙

継続中事業の取組状況 － 令和5年度 事業再評価実施事業･対象外事業

【対応方針】事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】 事業費進捗率　①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容　（ⅰ）計画どおりに進捗している
（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	［事業種別］事業名（所管局）	〈前回再評価時〉（対象外事業は方針作成なし） 対応方針	今後の取組方針	〈直近確認時〉 取組状況（事業費単位：億円）			5年度（事業再評価時）	6年度	7年度	8年度	9年度	7年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由
R5-09	［住宅事業］市営住宅建替事業（大阪市地区地域居住機能再生推進事業）（都市整備局）	事業継続（A）	「大阪市営住宅ストック総合活用計画」に基づき、耐震性の確保や居住水準の向上を図るため、労務単価や主要資材単価の高騰等の影響による事業費の増嵩等のリスクに対して適切に対応するとともに、「地域居住機能再生推進事業」等の国費を確保しながら、計画的に建替事業等を推進する。	計画	事業費	全体	2,824	2,824	2,824	2,824	2,824	市営住宅ストック総合活用計画に基づき、市営住宅建替を計画的に実施した。	［自己評価結果］ ②（ⅰ） ［理由］ ・落札者の処分により建設件数が下回ったことや住民が住みながら実施する工事において、工事時間帯の調整が必要となったこと等により執行計画を一部変更した。 ・当該変更により今後予定している事業スケジュールには影響しない。
						累計	710	1,029	1,355	1,651	1,947		
						進捗率	25%	36%	48%	59%	69%		
					完了年度		R12	R12	R12	R12	R12		
				実績	事業費	全体	2,824	2,824	2,824				
						累計	645	901	1,160				
						進捗率	23%	32%	41%				
					完了年度		R12	R12	R12				
R5-10	［新大学キャンパス整備事業］新大学キャンパス整備事業（副首都推進局）	事業継続（A）	【森之宮1期・杉本町・中百舌鳥・阿倍野キャンパス整備事業】 森之宮1.5期キャンパス整備以外の事業については、基幹教育や同一学部で複数のキャンパスに分かれる状態の解消に向け、着実な事業進捗に努めていく。 【森之宮1.5期キャンパス整備事業】 森之宮1.5期キャンパス整備事業も含め、大阪城東部地区1.5期開発全体として、今般実施したマーケットサウンディングの内容を踏まえつつ、大阪府、公立大学法人大阪及び大阪市高速電気軌道株式会社（大阪メトロ）とともに検討を進め、2028年のまちびらきに向けて、全体計画、開発スケジュール等を定めていくこととしており、着実な事業進捗に努めていく。	計画	事業費	全体	918	918	918	918	918	R7.9に森之宮に新キャンパス開設 同種分野の学部等の集約化に向け、既存キャンパス（杉本・中百舌鳥）を整備 ※府市折半により市負担額は1/2	［自己評価結果］ ①（ⅱ） ［理由］ 1.5期の公募不調により、工事着手時期が当初計画通りでは無くなったため、完了年度を変更。総事業費については今後検討していくが、R７年度においては変更なし。
						累計	382	777	844	867	906		
						進捗率	42%	85%	92%	94%	99%		
					完了年度		R10	R10	R10	R10	R10		
				実績	事業費	全体	918	918	918				
						累計	382	777	837				
						進捗率	42%	85%	91%				
					完了年度		R10	R10	**R12**				
R5-11	［街路事業］歌島豊里線整備事業（建設局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	219	219	219	219	219	用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	［自己評価結果］ ①（ⅰ） ［理由］
						累計	215	215	215	215	215		
						進捗率	98%	98%	98%	98%	98%		
					完了年度		R13	R13	R13	R13	R13		
				実績	事業費	全体	219	219	219				
						累計	215	215	215				
						進捗率	98%	98%	98%				
					完了年度		R13	R13	R13				
R5-12	［街路事業］本庄西天満線（神山）整備事業（建設局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	191	191	191	191	191	測量・設計、道路整備に向けた関係機関との協議を行い、事業進捗を図った。	［自己評価結果］ ②（ⅱ） ［理由］ 工事に係る関係機関協議に時間を要したため
						累計	177	182	187	190	191		
						進捗率	93%	95%	98%	99%	99%		
					完了年度		R10	R10	R10	R10	R10		
				実績	事業費	全体	191	191	191				
						累計	166	166	166				
						進捗率	87%	87%	87%				
					完了年度		R10	R10	R10				

別紙

継続中事業の取組状況 － 令和5年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】 事業費進捗率　①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容　（ⅰ）計画どおりに進捗している
（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	［事業種別］事業名（所管局）	〈前回再評価時〉（対象外事業は方針作成なし） 対応方針	今後の取組方針	〈直近確認時〉 取組状況（事業費単位：億円）			5年度（事業再評価時）	6年度	7年度	8年度	9年度	7年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由
R5-13	［住区基幹公園整備事業］巽公園整備事業（建設局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	162	200	200	200	200	用地取得に向け交渉を行った。	［自己評価結果］①（ⅰ） ［理由］
						累計	162	197	197	197	199		
						進捗率	100%	98%	98%	99%	99%		
					完了年度		R5	R10	R10	R10	R10		
				実績	事業費	全体	200	200	200				
						累計	159	197	197				
						進捗率	80%	98%	98%				
					完了年度		R10	R10	R10				
R5-14	［下水道事業］大阪市公共下水道事業（合流式下水道改善事業）（建設局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	1,500	1,546	1,546	1,546	1,546	住之江下水処理場雨水滞水池の整備工事を進めた。	［自己評価結果］①（ⅰ） ［理由］ 一部、工事発注後の支障物の取扱いで事業が遅れているが、事業期間に変更はない。
						累計	1,232	1,282	1,377	1,397	1,440		
						進捗率	82%	83%	89%	90%	93%		
					完了年度		R7	R10	R10	R10	R10		
				実績	事業費	全体	1,546	1,546	1,546				
						累計	1,232	1,282	1,312				
						進捗率	80%	83%	85%				
					完了年度		R10	R10	R10				
R5-15	［土地造成事業］第6貯木場土地造成事業（大阪港湾局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	60	60	60	60	60		［自己評価結果］①（ⅰ） ［理由］ 「咲洲東土地造成事業」に合わせて「R18」より整備予定の道路を除き、令和３年度に工事完了しているため。 完了年度についても同事業と合わせ、「R19」としている。
						累計	59	59	59	59	59		
						進捗率	98%	98%	98%	98%	98%		
					完了年度		R8	R8	R19	R19	R19		
				実績	事業費	全体	60	60	60				
						累計	59	59	59				
						進捗率	98%	98%	98%				
					完了年度		R8	R19	R19				
R5-16	［街路事業］北野今市線整備事業（建設局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	329	329	329	－	－	測量・設計、道路整備に向けた関係機関との協議を行い、事業進捗を図った。 ※事業費の変更を行った。（328.96億→332.82億）	［自己評価結果］②（ⅱ） ［理由］ 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要したため。 ［事業期間等の変更をした理由］ 令和７年度の事業認可変更において、事業計画（事業期間、事業費）を見直した。 ・事業期間：関係機関協議に伴う先行工事の遅延 ・事業費：建設価格の高騰の反映
						累計	320	323	329	－	－		
						進捗率	97%	98%	100%	－	－		
					完了年度		R7	R7	R7	－	－		
				実績	事業費	全体	329	329	**333**				
						累計	320	320	320				
						進捗率	97%	97%	96%				
					完了年度		R7	R7	**R14**				

別紙

継続中事業の取組状況 － 令和5年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】 事業費進捗率　①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容　（ⅰ）計画どおりに進捗している
（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	［事業種別］事業名（所管局）	〈前回再評価時〉（対象外事業は方針作成なし）		〈直近確認時〉												
		対応方針	今後の取組方針	取組状況（事業費単位：億円）			5年度（事業再評価時）	6年度	7年度	8年度	9年度	7年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由
R5-17	［街路事業］ 生野線整備事業 （建設局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	41	41	41	－	－	測量・設計、用地取得及び用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。 ※事業費の変更を行った。 （40.70億→40.99億）	［自己評価結果］ ②（ⅱ） ［理由］ 権利者との用地交渉や工事に係る関係機関協議に時間を要したため。 ［事業期間等の変更をした理由］ 令和７年度の事業認可変更において、事業計画（事業期間、事業費）を見直した。 ・事業期間：権利者との用地交渉の難航 ・事業費：地価の変動及び建設価格の高騰の反映
						累計	37	39	41	－	－		
						進捗率	92%	96%	100%	－	－		
					完了年度		R7	R7	R7	－	－		
				実績	事業費	全体	41	41	41				
						累計	37	37	37				
						進捗率	91%	91%	90%				
					完了年度		R7	R7	R12				
R5-18	［住区基幹公園整備事業］ 中之島西公園整備事業 （建設局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	55	55	55	55	55	先行取得した用地費の基金繰り戻しを行った。	［自己評価結果］ ①（ⅰ） ［理由］
						累計	53	53	54	55	55		
						進捗率	96%	96%	98%	99%	99%		
					完了年度		R9	R10	R10	R10	R10		
				実績	事業費	全体	55	55	55				
						累計	53	53	54				
						進捗率	96%	96%	98%				
					完了年度		R10	R10	R10				

別紙

継続中事業の取組状況 － 令和6年度 事業再評価実施事業･対象外事業

【対応方針】事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】 事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 （ⅰ）計画どおりに進捗している
（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	［事業種別］事業名（所管局）	〈前回再評価時〉（対象外事業は方針作成なし） 対応方針	今後の取組方針	〈直近確認時〉 取組状況（事業費単位：億円）			6年度（事業再評価時）	7年度	8年度	9年度	10年度	7年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由
R6-01	［街路事業］新庄長柄線（菅原）整備事業（建設局）	事業継続（B）	今後、今回精査したスケジュールでの事業進捗に努め、早期の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	70	70	70	70	70	測量・設計、用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	［自己評価結果］①（ⅰ）［理由］
						累計	45	46	47	48	49		
						進捗率	64%	65%	67%	69%	71%		
					完了年度		R18	R18	R18	R18	R18		
				実績	事業費	全体	70	70					
						累計	47	51					
						進捗率	68%	74%					
					完了年度		R18	R18					
R6-02	［街路事業］東野田河堀口線（上本町）整備事業（建設局）	事業継続（B）	今後、今回精査したスケジュールでの事業進捗に努め、早期の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	55	55	55	55	55	測量・設計、用地取得及び用地取得に向けた用地交渉を行うなど、事業進捗を図った。	［自己評価結果］②（ⅰ）［理由］工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、用地交渉や関係機関協議、道路設計を着実に進めており、事業進捗が図れているため。
						累計	20	21	22	24	26		
						進捗率	37%	38%	40%	43%	47%		
					完了年度		R23	R23	R23	R23	R23		
				実績	事業費	全体	55	55					
						累計	20	20					
						進捗率	36%	37%					
					完了年度		R23	R23					
R6-03	［街路事業］西野田中津線（大淀北）整備事業（建設局）	事業継続（A）	用地買収完了の目処が立ち、淀川左岸線（2期）へのアクセス路として機能的な道路ネットワーク形成および無電柱化を実施するべく、本格的に道路整備を進め、令和13年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	23	23	23	23	23	測量・設計、用地取得を行うなど、事業進捗を図った。	［自己評価結果］②（ⅰ）［理由］工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、用地交渉や関係機関協議、道路設計を着実に進めており、事業進捗が図れているため。
						累計	15	18	19	20	20		
						進捗率	65%	80%	84%	85%	89%		
					完了年度		R13	R13	R13	R13	R13		
				実績	事業費	全体	23	23					
						累計	14	16					
						進捗率	61%	71%					
					完了年度		R13	R13					
R6-04	［土地造成事業］夢洲土地造成事業（大阪港湾局）	事業継続（A）	IRを初めとし、その後の夢洲第2期、第3期も含めた国際観光拠点の形成や国際物流機能の強化に向けて、土地造成・インフラ整備等に取り組む。	計画	事業費	全体	3,050	3,050	3,050	3,050	3,050	土地課題対策 夢洲２区地盤改良工事 夢洲２区埋立工事 その他インフラ設計	［自己評価結果］①（ⅰ）［理由］
						累計	1,368	1,395	1,548	1,702	1,851		
						進捗率	45%	46%	51%	56%	61%		
					完了年度		R28	R28	R28	R28	R28		
				実績	事業費	全体	3,050	3,050					
						累計	1,368	1,483					
						進捗率	45%	49%					
					完了年度		R28	R28					

別紙

継続中事業の取組状況 － 令和6年度 事業再評価実施事業･対象外事業

【対応方針】事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】 事業費進捗率 ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容 （ⅰ）計画どおりに進捗している
（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	［事業種別］事業名（所管局）	〈前回再評価時〉（対象外事業は方針作成なし） 対応方針	今後の取組方針	〈直近確認時〉 取組状況（事業費単位：億円）			6年度（事業再評価時）	7年度	8年度	9年度	10年度	7年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由
R6-05	［住宅市街地総合整備・住宅地区改良事業］生野区南部地区整備事業（都市整備局）	事業継続（A）	これまで、2つの事業により、都市再生住宅や改良住宅の建設、道路整備など、一定の事業進捗を図り、防災性の向上や住環境の改善に成果を上げてきたところであるが、まちづくり協議会と連携・協働して、より一層の事業展開を行い、令和11年度事業完了を目指し、着実に実施していく。	計画	事業費	全体	543	543	543	543	543	・主要生活道路の築造（360m） ・用地買収（1,683㎡）	［自己評価結果］ ②（ⅱ） ［理由］ 地価の変動や事業に対する抵抗感から交渉が難航、権利者の特定が困難であることにより、用地買収の契約までに日数を要することが想定される。また、用地買収の遅延に伴い、特に道路に関する工事着手ができない状況であるため。
						累計	359	396	433	470	507		
						進捗率	66%	73%	80%	87%	93%		
					完了年度		R6	R11	R11	R11	R11		
				実績	事業費	全体	543	543					
						累計	359	366					
						進捗率	66%	67%					
					完了年度		R6	R11					
R6-06	［住宅地区改良事業］旭住宅地区改良事業（都市整備局）	事業継続（B）	事業収束をめざして、引き続き権利者に対し粘り強く交渉を行い、用地取得を進めるとともに、適宜必要戸数を見直しのうえ、計画的に改良住宅の建設や道路、児童遊園等の施設整備を行っていく。	計画	事業費	全体	54	54	54	54	54	地主と借地人との間で事業上の合意条件について折合わず進捗してこなかった地域の一部について、令和５年度以降２件目の用地買収の合意を得、事業が進捗した。 また、別件の地主と交渉し、長年協力が得られなかった建物調査を実施した。	［自己評価結果］ ②（ⅰ） ［理由］ 長年、地区の大部分を所有する地主らから、事業への理解が得られず、用地買収が進捗していなかったが、令和５年度に初めて大地主からの用地取得が実施できた。令和６年度以降は進捗困難であった大地主等から計画的な用地取得を行えているため。
						累計	28	33	38	43	48		
						進捗率	52%	61%	70%	80%	89%		
					完了年度		R11	R11	R11	R11	R11		
				実績	事業費	全体	54	54					
						累計	28	29					
						進捗率	53%	54%					
					完了年度		R11	R11					
R6-07	［街路事業］桜島東野田線（四貫島）整備事業（建設局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	41	41	41	41	41	道路整備、測量・設計を行うなど、事業進捗を図った。 ※事業費の変更を行った。（40.90億→47.63億）	［自己評価結果］ ②（ⅰ） ［理由］ 工事に係る関係機関協議に時間を要しているが、道路設計や先行工事を着実に進めており、事業進捗が図れているため。 ［事業費の変更をした理由］ 令和７年度の事業認可変更において、事業計画（事業費）を見直した。 ・事業費：建設価格の高騰の反映
						累計	36	37	38	40	40		
						進捗率	88%	89%	93%	97%	97%		
					完了年度		R15	R15	R15	R15	R15		
				実績	事業費	全体	41	**48**					
						累計	36	36					
						進捗率	88%	76%					
					完了年度		R15	R15					
R6-08	［公園事業］毛馬桜之宮公園整備事業（建設局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	198	198	198	198	198	事業完了に向け、河川管理者と不占解消地の今後の整備に係る協議等を行った。	［自己評価結果］ ①（ⅰ） ［理由］
						累計	180	180	184	186	187		
						進捗率	91%	91%	93%	94%	95%		
					完了年度		R13	R13	R13	R13	R13		
				実績	事業費	全体	198	198					
						累計	180	180					
						進捗率	91%	91%					
					完了年度		R13	R13					

別紙

継続中事業の取組状況 － 令和6年度 事業再評価実施事業・対象外事業

【対応方針】事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価】 事業費進捗率　①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
事業内容　（ⅰ）計画どおりに進捗している
（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	［事業種別］事業名（所管局）	〈前回再評価時〉（対象外事業は方針作成なし）		〈直近確認時〉												
		対応方針	今後の取組方針	取組状況（事業費単位：億円）			6年度（事業再評価時）	7年度	8年度	9年度	10年度	7年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由
R6-09	［公園事業］ 鶴見緑地公園整備事業 （建設局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	1,275	1,275	1,275	－	－	事業完了に向け、関係機関との調整を行った。	［自己評価結果］ ①（ⅱ） ［理由］ 令和７年度に、大阪・関西万博の会場内の植栽を、本事業地内に移植することとなったため、植栽計画の見直し等が必要となった。そのため、令和10年度までの事業完了を目指し、令和８年度にあらためて計画の見直し、実施設計を行う予定。
						累計	1,273	1,273	1,275	－	－		
						進捗率	99%	99%	100%	－	－		
					完了年度		R8	R8	R8	－	－		
				実績	事業費	全体	1,275	1,275					
						累計	1,273	1,273					
						進捗率	99%	99%					
					完了年度		R8	R8					
R6-10	［土地区画整理事業］ 大阪都市計画事業淡路駅周辺地区土地区画整理事業 （都市整備局）	（対象外）	（対象外）	計画	事業費	全体	368	368	368	368	－	継続損失補償	［自己評価結果］ ①（ⅰ） ［理由］ ※本事業の完了年度は、関連事業である阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業の事業期間に合わせてR13に変更するべく協議中であったが、当該関連事業の事業期間が約５年延伸される見通しとなっているため、本事業もそれに合わせて変更予定。また、完了年度の変更に伴い、近年の物価高騰などの影響を踏まえた事業費の精査も予定している。
						累計	352	352	353	368	－		
						進捗率	96%	96%	96%	100%	－		
					完了年度		R9	R9	R9	R9	－		
				実績	事業費	全体	367	367					
						累計	352	352					
						進捗率	96%	96%					
					完了年度		R9	R9					